



Wilhelm Furtwängler conducts
Schumann & Beethoven

aud 91.441

EAN: 4022143914415



Record Geijutsu (01.02.2018)

Japanische Rezension siehe PDF!



2018.2 Record Geijutsu

The Record Geijutsu Disc Review

[録音]=76/77点 シューマン:《マンフレッド》序曲,交響曲第4番,ベートーヴェン:同第3番《英雄》
フルトヴェングラー指揮 ルツェルン音楽祭0
アウディーテ KIGC27~8 ¥4000 CD&SACD

初CD化
一部

再
発
売
交響曲



ツトのフォルテなど、じつに
すばらしいサウンドだ。
数多く残された巨匠の《エ
ロイカ》の中でも、この53年
盤は特筆に値する超名演だ。
52年のウィーン盤の完成度の
高さに、大きな起伏を持った
ドラマティックさを加えたとい
えば簡単だが、まったく身
動きができないほどの圧倒的
なベートーヴェン。葬送行進
曲はわけても感動的だ。終結
部やフガート直前のささやく
ような弱音など、表情の深み

推薦 53年8月26日、ルツ
ェルン音楽祭における実況録
音で、《マンフレッド》序曲
はこのディスクが最初のリリ
ースとなった。そして今回は
SACDでのリマスターリング
で、すばらしい結果を出して
いるのである。特に《エロイ
カ》は会場の雰囲気、残響を
含む空気感など、圧倒的な臨
場感を保ちながら、音楽とは
無関係なノイズが聞き違える
ほどに取り除かれている。胸
に突き刺さるようなトランペ

が聴き手の胸を猛烈に揺さぶ
るのである。両端楽章の強烈
な推進力や雄大なスケール感
もこの巨匠ならではの、といえ
よう。
シューマンの第4番も身体
がぶつ飛びそうな名演だ。も
ちろんこれ以前の巨匠の激し
くドラマティックな演奏とは
大きく異なっている。同じ
53年5月の有名なグラモフォ
ン盤のような達観しきった演
奏にむしろ近い。聴き手の胸
にガツンと響く猛烈なアタッ
クから陰影の綾模様は埋没し
そうな深いコクに至るまで、
ダイナミックは凄絶をきわめ
ているが、テンポの動きは限
定的で、そのことが音楽をク
ツと立派に、懐の深いものに
していると言つことができよ
う。そして新発見の《マンフ
レッド》序曲。拍手が止んで
からの長く物々しい沈黙から
して異様な雰囲気伝わって
くるが、この世のありとあら
ゆる懊悩を抱え込んだかのよ
うに苦しみ悶える序奏部に重
たい足どりの主部、聴き手を
コテンパンに打ちめす名演
が展開する。実際にはこの直
後に第4番、休憩後に《エロ
イカ》だったのだから、
聴衆はへとへとになって家路
についたのではないだろう
か。没後60年を超えてこうし
て新しい音源が発見される、
すごいことだ。
松沢